



独立行政法人

Incorporated Administrative Agency

家畜改良センター茨城牧場

*National Livestock Breeding Center
Ibaraki Station*



〒308-0112

茨城県筑西市藤ヶ谷2330番地

TEL 0296-37-6511(代表)

FAX 0296-20-3020

E-mail: nlbc_ibaraki@nlbc.go.jp

URL: <http://www.nlbc.go.jp/ibaraki/>

—日本の食卓 改良と技術で守ります—

～小さなタネから大きなウシまで～

I 種豚の改良増殖

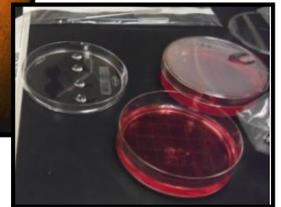
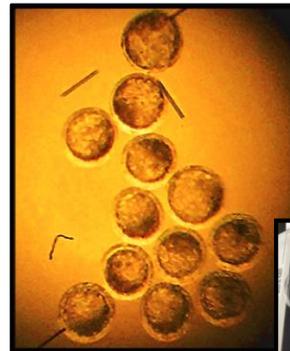
1 高繁殖能力群（ランドレース種、大ヨークシャー種）の作出

(1) 3元交配（LWD）の雌系母豚として利用されるランドレース種（L）について、以下を目標として、令和2年度までに作出した種豚群を元に交配・選抜を繰り返しながら、種豚の繁殖能力の改良に取り組んでいます。

・令和7年度までの改良目標：1腹当たり育成頭数 おおむね11.2頭

(2) 同じく大ヨークシャー種（W）について、以下を目標として、令和2年度までに作出した種豚群を元に育種素材の外部導入や交配・選抜を繰り返しながら、種豚の繁殖能力の改良に取り組んでいます。

・令和7年度までの改良目標：1腹当たり育成頭数 おおむね10.8頭



育種素材の導入では、
受精卵移植技術を活用しています。

2 種豚及び精液の生産・供給

茨城牧場では、3元交配に利用される3品種（ランドレース種、大ヨークシャー種、デュロック種（D））及び希少種（ヨークシャー種、梅山豚）について、種豚及び精液の生産・供給を行っています（3品種は、純粋種豚生産に利用する場合のみに限定。）。



ランドレース種



大ヨークシャー種



デュロック種



ヨークシャー種

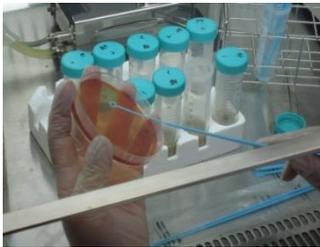


梅山豚

II 衛生・防疫体制



車両消毒の様子



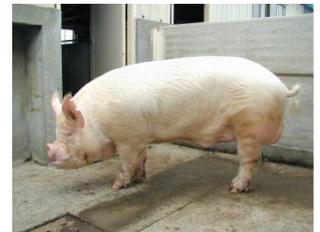
細菌検査の様子

当场では、以下の入場条件、検査体制等を整えることにより、豚の伝染性疾病の侵入防止を図っています。

- ・ 飼料・資材等は、全て消毒を実施してから場内に持ち込むこととしています。
- ・ 豚舎区域に入場する人については、一定の条件を満たしていることを確認の上、シャワー浴、全身更衣等を義務付けています。
- ・ オーエスキー病、豚繁殖・呼吸障害症候群等の抗体検査、細菌検査等を定期的実施しています。

III 家畜遺伝資源の保存

当场では、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構が行う農業生物資源ジーンバンク事業のサブバンクとして、ヨークシャー種、梅山豚、バークシャー種及びメキシカンヘアレスピッグを生体又は凍結精液により保存しています。



ヨークシャー種



凍結精液の保存



精液の活力検査

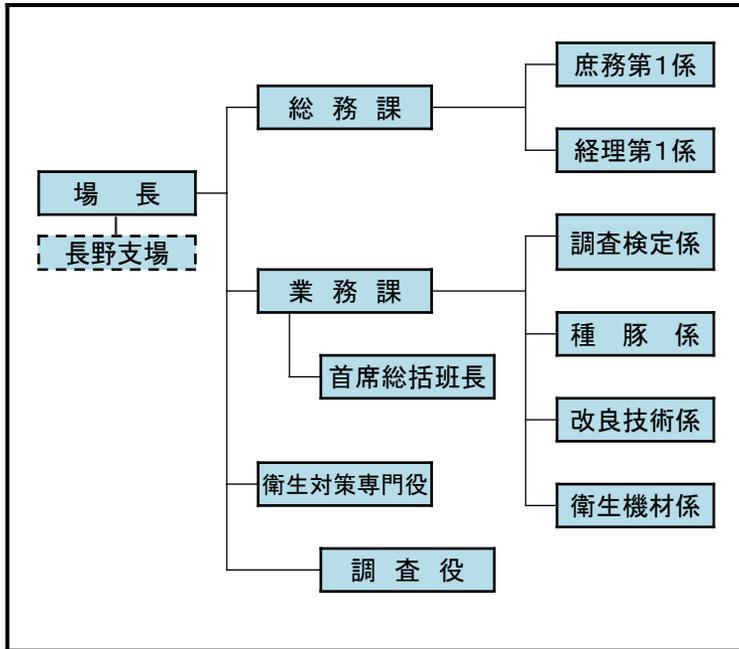


メキシカンヘアレスピッグ



梅山豚

IV 組織・沿革



昭和34年(1959年) 農林省大宮種畜牧場豚検定課として発足
 昭和36年(1961年) 農林省大宮種畜牧場種豚課に改称
 昭和38年(1963年) 農林省大宮種畜牧場茨城支場に昇格
 昭和40年(1965年) 農林省白河種畜牧場茨城支場と改称
 平成2年(1990年) 農林水産省家畜改良センター茨城牧場に改組
 平成13年(2001年) 独立行政法人家畜改良センター茨城牧場に改組
 平成21年(2009年) 家畜改良センター長野牧場が当場の支場となる

V 交通

東京方面から列車利用

JR東北新幹線・宇都宮線
 「小山駅」から水戸線乗換え
 「玉戸駅」下車、車で10分

取手方面から列車利用

関東鉄道常総線
 「大田郷駅」下車、車で10分

自家用車利用

東北自動車道
 「佐野藤岡IC」から車で60分
 常磐自動車道
 「谷和原IC」から車で60分



VI 来場される方へ

来場を希望される場合、事前に電話で御連絡ください。

なお、1週間以内に、養豚・食肉関連施設、家畜の疾病を扱う研究室等に立ち入った方及び海外渡航された方については、入場をお断りしています。